

令和2年度一橋大学学位記授与式 祝辞

令和3年3月19日
三菱地所株式会社 取締役会長
一般社団法人 如水会理事長
杉山 博孝

如水会理事長の杉山です。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生生活最後の1年がコロナ禍の中で、思ったような活動ができないという大変厳しい中で、無事卒業され、目標の進路に進まれましたことに、心より敬意を表します。

コロナの影響により、昨年に続いて如水会主催の卒業祝賀会を開催できないのは大変残念ですが、卒業式にあたりましてひとことお祝いを申し上げます。

皆さんは、これまで以上に多様な進路に進まれていると思います。私自身は三菱地所に入社し、長らくビジネスの世界に身を置いて参りました。本日、皆さんの新たな門出にあたり、私の経験も含めながらメッセージをお送りしたいと思います。

一つ目は、皆様には一橋大学の理念である、「キャプテンズ・オブ・インダストリー」これを忘れずにいて頂きたいということです。今、コロナによって社会は大きく変化しようとしています。社会構造の変化、働き方のあり方、デジタルトランスフォーメーションをはじめとする様々なデジタルシフト。「いずれ訪れる」と思っていたことが、今、急激に訪れてきています。そのような中で私たちが学んだ、皆さんが学んだ「キャプテンズ・オブ・インダストリー」は、常に考えの軸になると思います。これからさまざまな困難に直面すると思いますが、この軸を常に意識し、ぶれることなく行動していただきたいと思います。

二つ目は、リーダーシップとフォロワーシップです。リーダーシップについては言うまでもありませんが、フォロワーシップというのは、ただリーダーに従っていくということではなく、様々な課題にあたって、自ら主体的に自立的に考え、行動する。そしてリーダーを支援していく。これがフォロワーシップです。皆さんは卒業して当面はフォロワーであることが多いと思いますが、リーダーのために何ができるか、仕事の成果の最大化を図るためにはどうすればいいのかを常に考えながら行動する。これが社会人としてのフォロワーであると思います。フォロワーシップを意識することで、将来の皆さんのリーダーシップを磨くことにもなると思っています。

三つ目は高潔なリーダーを目指せ、ということです。ノブレス・オブリージュという言葉聞いたことがあると思いますが、簡単に言えば、上に立つ者は、常に社会の模範となるよう振る舞うべき、ということだと思います。一橋大学で幅広い知識、教養を深め、深い専門研究を通じて自らを鍛えてきたことで、これから進まれる様々な分野において、難局や課題に立ち向かい、率先してリードしていく指導者になる力を秘めている皆さんですが、そのためにも謙虚に学び、人のために献身的に尽くし、高潔な矜持や責任感を持ってことにあたる。まさにノブレス・オブリージュを体現した真のリーダーになるように、力強く前進していただきたいと思います。

最後になりますが、心身共に健康であることがすべての基本です。これからスタートするそれぞれの進路におきまして、まずは健康第一で皆さんが活躍されますことを心よりお祈りしております。

本日は誠にありがとうございました。